



村田 雅彦  
(公明党)

### ICT化推進に向けた体制整備を

**問** これからは、医療、観光、防災、教育など、行政が関わる全ての分野で情報通信技術（ICT）を有効利用し、サービスの向上を図るとともに、組織やサービスのあり方を変更するなど、技術革新へ適応していくことが必要である。

ICTの活用で、様々なヒト・モノ・データがつながり、利便性が向上したまち・活力のあるまちをつくるためには、市のICT化を強い権限で強力に推進できる体制の整備が必要と考えるがどうか。

**答** これまで、24年3月に策定した第3次宇都宮地域情報化計画に基づき、

住民票などのコンビニ交付サービスなど、市民サービスの向上に資する施策・事業を推進してきた。策定中の第6次宇都宮市総合計画においても、ICTの活用について、複数分野での連携が不可欠な取り組みなどを取りまとめた「まちづくり好循環プロジェクト」に位置付けている。

現在、庁内横断的な組織として、宇都宮地域情報化推進本部を設置し、分野ごとにICTを推進しているが、今後は、推進本部内に分野横断的なICTの

活用を推進する新たな体制を整備していく。



#### その他の質問項目

- ①安全・安心のまちづくり（地域防災体制の強化、防犯カメラの設置推進）②地球温暖化対策の推進③教育行政教育費の負担軽減、教員の働き方改革、チーム学校の推進



久保井 永三  
(統一)

### 障がい者施設の給付費不正請求への対応は

**問** 障がい者施設などでのサービス給付費などの不正請求が行われていると考えられる場合は、事実の確認をし、改善勧告などを実施しているとのことである。

本市などに不正請求に係る情報公開請求をしたところ、実績に基づかない請求などが行われており、返金額は約1400万円余になる。重大な犯罪であると考えられるがどのように対応するのか。

**答** サービス給付費の算定は複雑であり、事業者の理解不足や錯誤も見受けられるため、実地指導などにおいて適正な運営体制の確保に関する助

言・指導などや報酬請求に関する内容の確認を実施している。

不正請求などが確認された場合は、改善勧告などの行政指導を行い、施設などに是正を促している。正当な理由なく、是正措置をとらなかつた場合や、虚偽報告が明らかになった場合は、改善命令などの行政処分を実施し、公表を行うこととしている。

情報公開した案件については、現在、事業者から報告された内容について、改善事項や報酬返納額を精査しているところであり、その結果に基づき、改善状況の確認や返納などの指示をしていく。



#### その他の質問項目

- ①防災についての本市の危機管理②土壌汚染③固定資産税の過大徴収と空き家対策特別措置法④LRT事業



篠崎 圭一  
(自民党)

### LRTを活かす 雀宮駅発バス路線の新設を

**問** 29年10月に五代若松原地区・雀宮地区でネットワーク型コンパクトシティのまちづくりに関する地区説明会が開催された。資料を改めて見直すと、JR雀宮駅東側から、瑞穂野、石井へ運行するバス路線の計画がなかった。

LRTが背骨であり、肋骨としてのバス路線と合わせて利便性の高い交通網を構築するとの説明があったところである。雀宮駅からインターパークや瑞穂野団地、問屋町などを経由して、LRT電停やJR宇都宮駅東口へつなぐバス路線が必要と考えるがどうか。

**答** 拠点間の連携強化や公共交通空白地域の解消などの考えのもと、LRT導入後の将来の公共交通ネットワークイメージを作成した。

このイメージにおける雀宮駅東側の公共交通については、市民の移動実態や路線バスの利用状況などを踏まえ、上三川街道を運行するバス路線の充実や、インターパーク周辺を目的地とする地域内交通の雀宮地区全域への拡大を想定している。引き続き、バスと地域内交通の適切な役割分担のもと、公共交通の充実に努めていく。



▲雀宮駅東口の様子

#### その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（市政の根本やその目的に対する意気込みなど）②福祉政策と地域連携③先進的環境政策（ごみの発生抑制など）④競輪場を含めた八幡山の活用⑤学校での体向上策⑥地域文化財の保護（歴史文化基本構想策定の方向性）⑦広域火災への備え